

414
A 759

外務部
第四百四號

明治十四年七月四日

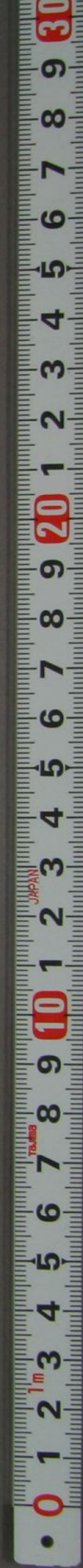
外務部
書記官 平井

大正十一年四月
限候爵郵寄贈月

伊國の海、東洋、印度西國、條約
多信之覽候也

子弟外務省、華、亞、印、國、使、館、指、考、第、三、號

1156



114
A 759

公第一五四三号

別冊在伊國我公使館明治十四年第三號
報告書例ニ因リ進達仕候也

外務卿代理

明治十四年六月二日 外務大臣輔上野景範

外務大臣三條實美殿

乙二七

十四年第三号
報告書

大正
官

伊國近況 内閣宰相辭職

四月六日伊國政府下院ニ於テ「ケ」ニ「ス」事件ニツキ
外交政畧上其宜ヲ得ルヤ否ノ問題ヲ發スルニ當リ内
閣大臣ハ次日答辯スヘキ旨ヲ演シテ退院セリ
翌七日内閣ヨリ多少答辯セシト雖モ院中ノ議莫ク服
スルヲ得スシテ討論激烈ニ涉ラントスルヲ以テ宰相
兼外務卿ハ過激ノ議論ヨリシテ佛伊兩國ノ交誼ヲ破
ラントテ憂ヘ強テ答辯ヲ好マス終ニ辭表ヲ呈シ其
職任ヲ解カントテ請ハヒタリ
於是國王陛下ハ上下兩院ノ議長及議員中最モ才力ア
ル者ヲ召シ「カ」イ「ロ」リ「」氏ニ代テ内閣ヲ組織スベキ事
ヲ評議セシメシモ一モ昔意ニ適セサルヨリ更ニ「石」局
長「」氏ヲ拓キ内閣組織ノ事ヲ委任アリタリトモ

同氏ハ辭シテ受ケスカイロリ¹氏ヲシテ尚職務ヲ執
ラシメン¹ヲ奏上セリ此間評議廿餘日ヲ空シク消費
ス時ニ佛國ノ陸兵ハ既ニアルゼリ¹ノ境ヲ起ヘ海軍
ハ直ニチエニスニ進航シ武カヲ以テチエニス¹政
府ヲ脅迫シテ嚴ニ約束ヲナシ後來ノ處分ヲナサン¹
請求ス

伊國ノ下院中¹右局¹黨ハ皇帝ノ右局ヲシテ内閣ヲ組織
スハキ¹ヲ委任サレシハ其意ニ適セス去迎左局黨中
ク¹リスピー¹ニコテラー¹ザナルデリ¹諸氏ト雖モ現時
院中ノ勢ヲ得サレハ右局ニ内閣ヲ讓ランヨリハ寧口
左局ヲシテ内閣ヲ占有スルニ如カスト決意シ猶カイ
ロリ¹氏等ノ在職ヲ以テ愈レリトス皇帝ハカイロリ
¹氏ノ辭表ヲ允サヌ尚其職務ニ任スヘシト命セラレ

タリ

依テ四月三十日カイロリ¹氏議院ニ臨ミテ内閣ヲ信
任スルヤ否ヲ議算ニ問レシニ投票ノ數百三十餘名ヲ
得テ遂ニ在職ノ事ニ決セリ

然ルニ佛國政府ハ本月上旬更ニチエニス¹政府ト條
約ヲ結ビ其條款ヲ議定セリ

於是本月十四日午前院中エキストレ¹ム左局ヨリ議
論ヲ發シ再ヒ内閣ニ向ヒ外交政畧ニ附キ意見ヲ質問
スルニ當リカイロリ¹ハ此ノ事去月七日既ニ意見ヲ
陳述シタルハ今又答辨スルニ及ハスト云テ連ニ皇帝
ハ辭表ヲ上リテ午後議算ニ向ヒテ云ク皇帝陛下既ニ
辭表ヲ允准セラレ後任ノ組織マテ事務ヲ管掌スハキ
旨ヲ命セラレタル趣ヲ陳述ス於是議長ハ議算ニ向ヒ

他ノ論題ヲ議スルカ或ハ閉場スヘキカヲ問ヒシニ悉ク閉場ノ議ニ同意ニテ起立セシヲ以テ即時議院ヲ閉チタリ

皇帝ハ例規ニ從ハス内閣變換ノ時ハ必ス兩議院ノ長ヲ石ニ後任ヲ撰定スルヲ以テ法ト直ニ右局長セーレ氏ヲ石シ内閣編制ノ事ヲ委任セラレタリ

抑議員五百八名ノ内右局黨ハ僅ニ百三十餘ナレハ院中ノ「マ」ゲヨリ「チ」レヲ得サルハ勿論ナリ故ニ「セ」レ氏ハ左局黨中ヨリ數名ヲ撰ミ共ニ内閣ヲ組織セント欲レトモ左黨中ヨリ一人トシテ之ニ左祖スル者シ現時内閣組織ノ事ニツキテハ實ニ困難ヲ極タリト云ヘシ若シ強テ右局ニ内閣ヲ委任セント欲セハ一時議員ヲ解散シ更ニ總議員ヲ撰擧スルノ外ニ策ナカルハ

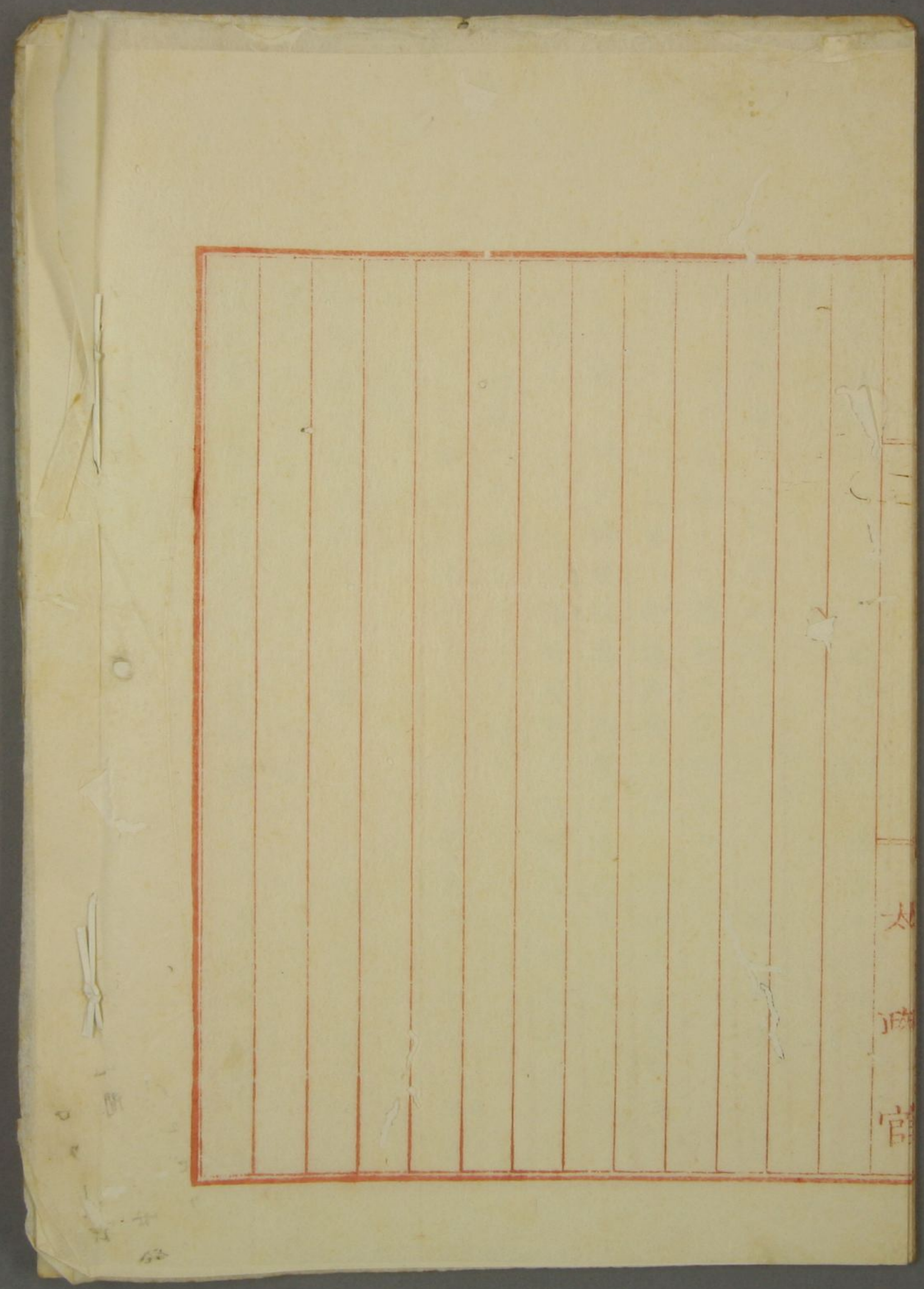
シ然レ方今歐洲各國共ニリベラール家ノ權力益熾盛ナルニ從ヒ最モ佛國リベラール家ノ說伊國ニ波及シタレハ假令解負ノ法ヲ行フトモ輿論ヲ歸セシムルハ亦タ難カルヘシ現ニ美蘭熱那拿不里其他各所ニ於テ人民彌集シ右局ノ内閣ヲ占有スルヲ忌嫌シ頻ニ左局ヲ賛成シテ其旺盛ヲラントテ唱ル者街衢ニ滿チ甚キハ府廳ニ迫ルモノ有リト聞ク然ハ右黨ノ内閣ヲ編制シテ果シテ好結果ヲ得ルト否トハ赤タ知ル可カラサル也尚後日ヲ待テ細報スヘシ

條約ノ大意

佛國人民ノ安全ヲ保護スルニ必要ト見認ル場所ハ佛兵ヲ以テ之ヲ守護スルモノトス

佛國政府ハ「チユニース」「バイ」副王ノ權カト同政府ノ獨立ヲ保証スベシ
歐洲各國ノ爲ニ佛政府ハ「チユニース」政府ハ「各國政府トノ間ニ現存スル條約ヲ保証スル」
「チユニース」政府ハ向後各國ト更ニ盟約ヲ取結ハントスル時ハ必ス佛國政府ニ相談ヲ遂クヘキモ、トス
「チユニース」ニ在ル佛國領事ハ外國人ニ對シ「チユニース」ノ利益ヲ保護スルヲ任ス
「チユニース」政府財政上ノ方法ハ佛政府ト商議ノ上便宜ノ所置ヲナス
佛國遠征費用償還ハ暴動ヲナセシ地方ヨリ取立ルト
羅氏「チユニース」政府之ヲ保証スヘキ
「チユニース」政府ハ「アルゼリー」ノ爲ニ危害トナルベキ

兵器彈藥等ヲ同國南方海路線ヨリノ輸入ヲ防禦スル



太
正
官